



大阪日々新聞紙 十三号

東京傳馬町宇屋敷神田福馬大工の棟梁

何某が家へ毎夜五時と覚しを頃忽然と個の直黒坊主が現れ出て女房の夜着の側のより見しふいやら一事をか

頬や口もと甜皮を其つて粘り

醒ければ女房キヤを故馬死を心神疲まの絶かして一晩親をへ

治るふ遣りし其夜何の事あり

あきと最早妖魅に立来りし

家は度と雨ひ出て是は

大変と皆打まうて百物語り

狐狸と物の仕業かとか持や物

花源堂



花源堂

妖魅夜
ホリ